



平成 24 年度「三ッ池の森」多治見中学校による活動報告

今年度、多治見中学校では、「総合的な学習の時間（環境学習）」の一環として、1年生 188 名を対象として、樹林の大切さ・樹林整備の意義についての学習会を2回、三ッ池の森の樹林整備活動を1回行いました。

○第1回学習会「森の大切さについて」 平成 25 年 1 月 17 日
講義「森の大切さ、森の動き、樹林整備の必要性」について
～NPO 法人鎮守の森より、長尾講師を招いて～

○第2回学習会「樹林整備前の事前学習」 平成 25 年 1 月 24 日
講義「樹林整備の方法（木の切り方・片付け方、切る木・残す木など）、安全な樹林整備のためのルール」
実習「ヘルメットのかぶり方」

○樹林整備活動 平成 25 年 2 月 7 日

18 班にわかれて、三ッ池の森を整備

- ・常緑低木や成長の悪い木等の伐採（間引き）
- ・ネザサの刈取り
- ・整備面積：約 4,000 m²



学習会の様子

1/17 第1回学習会「森の大切さ」

-NPO 法人鎮守の森より長尾講師を招いて-

講義の様子



整備の必要性を学ぶ ～木の気持ちを体験～



密生して生えた木



適度な密度で生えた木

1/24 第2回学習会「樹林整備の事前学習」

-安全で楽しく作業するために-

ヘルメットのかぶり方講習の様子



安全学習の様子(講義)



講義内容

- ・整備時の基本装備
- ・ノコギリの使い方
- ・木の伐採方法、片づけ方
- ・樹林整備の方法
- ・安全に作業するための注意点



2 / 7 樹林整備活動の様子



生徒は、森の大切や樹林整備の必要性などの事前学習をふまえて、「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」を目的として、地元の NPO 等の支援のもと、18 班にわかれ、樹林を明るくするための木の間引き、ネザサの刈取りを行いました。

当日は、多治見中学校 P T A、ミッ池の森整備の会、市之倉森づくりの会、NPO 法人鎮守の森、砂防ボランティア、多治見市、多治見砂防国道事務所が協力し、生徒への伐採方法の指導や安全管理などの活動支援を行いました。参加者は、中学生・支援者をあわせて、総勢 243 名でした。

集合の様子



総勢 243 名が整備に取り組みました

切る木・残す木を選定



残す木へのマーキング

ネザサの刈取り



剪定ばさみを用いたネザサの刈取り

木の伐採



みんなで協力し、ノコギリで、常緑低木や成長の悪い木を伐採しました



切った木の片づけ

切った木は玉切りにし、整理して林内に置きました



樹林が明るくなりました！



整備前の樹林



整備後の樹林

生徒の感想例

- ・ 実際にやってみると楽しく、歩いてじゃまな木を切ったりすると、とても歩きやすい森になりました
- ・ 自分の生まれ育った町の森を整備することにより、地域に貢献できたことや、班の人といっしょに楽しく整備ができてよかったです



「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の緑を対象とし、市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>